

教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況に係る点検・
評価に関する報告書

(令和6年度事業分)



令和7年8月

雲仙市教育委員会



雲仙市教育方針

雲仙市教育委員会は、広く市民の理解、協力、参画のもとに、「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進する。

このため、人間尊重の精神を基調として、生涯を通じて学び、郷土を愛し、郷土の自然・歴史・文化に誇りを持ち、国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成を図る。

特に、教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める。

雲仙市教育努力目標

- ふれあい、学びあい、認めあう生涯学習の推進
- 豊かな心と自ら学ぶ力をはぐくむ学校教育の実現
- 明るい社会をつくる人権・同和教育の推進
- 夢と希望をもち、たくましさ・やさしさを身につけた青少年の育成
- 郷土の豊かさをはぐくむ芸術・文化の振興
- 健康で明るく、たくましい心とからだをはぐくむ生涯スポーツの振興
- 国際性豊かな人づくりの推進

雲仙市教育のキーワード

やさしさに満ちた教育【人・地域・環境】

目 次

1	はじめに	……………	P	1
2	雲仙市教育委員会の活動状況	……………	P	2～6
	(1) 教育委員会の構成(令和7年4月1日現在)			
	(2) 教育委員会及び教育委員の主な活動報告			
	①教育委員会開催			
	②教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問			
	③その他の活動			
3	雲仙市教育振興基本計画 主要施策体系図	…	P	7
4	点検及び評価の概要	……………	P	8
	(1) 点検及び評価の対象			
	(2) 点検・評価方法			
5	「重点目標」の評価結果	……………	P	8
6	主要施策に係る点検評価シート			
	重点目標1 子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。			
		……………	P	9～16
	(1)-① 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育活動の充実			
	(1)-②、(3)-① コミュニティ・スクール導入による教育活動充実			
	(1)-③ 教職員研修充実と働き方改革推進			
	(2)-① 安全安心で快適な学習環境づくり			
	(2)-② 時代に即した情報教育環境の整備			
	(3)-② 教育相談、不登校児童生徒支援充実			
	(3)-③ いじめ対策の充実			
	(3)-④ 各種就学支援事業の実施			

重点目標2 生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。

…………… P17～22

- (1)-① 多様な生涯学習プログラムの実施
- (1)-② 市民のニーズに応じた図書館・図書室運営の充実
- (1)-③ 各種文化団体の活動支援
- (2)-① 地域に根差した青少年の健全育成の推進
- (2)-② 一人一人が認めあう人権意識の啓発
- (3)-① 学びの場としての社会教育施設の適正な管理運営

重点目標3 歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。

…………… P23～26

- (1)-① 郷土の歴史・文化の継承
- (1)-② 伝統的建造物群保存地区事業の推進
- (1)-③ 開発事業に伴う埋蔵文化財の適切な保存活用
- (2)-① 市民団体と連携した文化芸術活動の推進

重点目標4 運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

…………… P27～30

- (1)-① 運動・スポーツの日常化の推進
- (1)-② スポーツ競技力向上とジュニアスポーツの推進
- (2)-① 社会体育施設の整備と民間活力の導入
- (2)-② 地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進

7 学識経験者の所見

…………… P31～

1 はじめに

雲仙市教育委員会では、市の教育方針である「明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり」を推進するため、雲仙市教育方針や努力目標を掲げ、様々な取組を進めてまいりました。さらに平成28年4月に雲仙市教育振興基本計画、令和3年4月には第2期雲仙市教育振興基本計画を策定し、この計画を教育行政推進の基本と位置づけ、その目標達成に向け様々な施策を展開しているところです。

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正されたことに伴い、同法第26条第1項の規定に基づき平成19年度事業分から点検・評価を行うよう義務付けられたことから、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成しています。平成28年度分からは雲仙市教育振興基本計画における主要施策の進捗状況を対象として点検・評価を行い、併せて教育委員会の活動状況を報告書に記載し、雲仙市議会に提出するとともに市民の皆様に公表しています。

また、同法第26条第2項に、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、学識経験者として元雲仙市立南串第二小学校長 岩永敏幸 氏に所見をいただいております。

雲仙市教育委員会では、今回の点検・評価及び学識経験者の所見を基に教育委員会の活性化及び事務事業の推進など教育行政の担い手としての役割を発揮し、更なる教育の充実に努めてまいります。

令和7年8月22日

雲仙市教育委員会

2 雲仙市教育委員会の活動状況

雲仙市教育委員会の会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催し、施策や事業の効果的・効率的な実施や緊急な課題への適切な対応を図るための協議等を重ねています。

定例会教育委員会の会議以外の活動では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、総合教育会議（年2回）において教育行政の現状と課題などについて市長との協議を行いました。また、その他の活動にも積極的に参加するなど、教育行政の中心的な役割を担い、教育施策の推進を図りました。

(1) 教育委員会の構成（令和7年4月1日現在）

区別	氏名	年齢	任期	
			任命年月日	満了年月日
教育長	大津 善信	62	令和5年 3月1日	令和8年2月28日
教育委員 (教育長職務代理者)	江川 儀平	68	令和4年12月2日	令和8年12月1日
教育委員	永岡 悦子	64	令和3年12月2日	令和7年12月1日
教育委員	進藤 梓	42	令和5年12月2日	令和9年12月1日
教育委員	寺田 三千裕	63	令和6年12月2日	令和10年12月1日

(2) 教育委員会及び教育委員の主な活動報告

①教育委員会開催

令和6年度は、定例会を12回、臨時会を1回開催し、教育長に委任された教育に関する事務の執行の状況を確認するとともに議案31件、報告事項11件について審議等を行いました。

会議名 (開催日)	種別	主な審議事項
第1回 定例会 (4月26日)	報告	社会教育委員の委嘱について
	報告	雲仙市図書館協議会委員の委嘱について
	報告	雲仙市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (雲仙市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例案について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和6年度一般会計補正予算(第1号)案について)

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第2回 定例会 (5月29日)	報告	雲仙市教育支援委員会委員の委嘱について
	報告	長崎県立千々石少年自然の家存続に関する陳情について
	議案	雲仙市立小・中学校体育施設開放の管理利用に関する規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市立中学校部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について
	議案	雲仙市学校給食運営審議会委員の委嘱について
第3回 定例会 (6月28日)	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について
第4回 定例会 (7月30日)	報告	雲仙市奨学資金貸付審議会委員の委嘱について
	報告	債権放棄の報告について
	議案	令和5年度事業分に係る「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価に関する報告書」の作成について
	議案	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和6年度一般会計補正予算(第2号)案について)
第5回 定例会 (8月27日)	—	議事事項なし
第6回 定例会 (9月26日)	—	議事事項なし
第7回 定例会 (10月31日)	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和6年度一般会計補正予算(第5号)案について)
第8回 定例会 (11月29日)	—	議事事項なし
第1回 臨時会 (12月2日)	報告	雲仙市教育委員会の構成について
	報告	教育長職務代理者の選任について
第9回 定例会 (12月24日)	議案	雲仙市立千々石第二小学校統合検討委員会委員の委嘱について
	議案	職員の処分について
	議案	職員の処分について
	議案	教職員の指導措置について

会議名 (開催日)	種別	主 な 審 議 事 項
第10回 定例会 (1月30日)	議案	雲仙市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針(素案)の策定について
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和6年度一般会計補正予算(第7号)案について)
	議案	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について (令和7年度一般会計当初予算案について)
第11回 定例会 (2月21日)	議案	令和7年度雲仙市立小・中学校教職員人事異動の内申について
第12回 定例会 (3月26日)	報告	教育委員会事務局職員の人事異動について
	議案	雲仙市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市小・中学生遠距離通学費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
	議案	雲仙市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市立中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱を廃止する要綱について
	議案	雲仙市教育支援委員会委員の委嘱について
	議案	雲仙市図書館協議会委員の委嘱について
	議案	教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について
	議案	雲仙市スクールバス運行管理規程の制定について
	議案	雲仙市学校教育振興補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
	議案	雲仙市立小・中学校共同実施室の設置並びに組織及び運営に関する規程の一部を改正する規程について
	議案	雲仙市立千々石第二小学校の統合に係る方針について
議案	雲仙市立小・中学校に勤務する教職員の自家用車による公務旅行に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について	

②教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問

教育長及び教育委員は、市立小・中学校の学校経営及び学校施設等の整備状況を把握することで、学校教育の振興を図ることを目的に、教育長及び教育委員による学校訪問を毎年行っています。また令和元年度からは、併せて社会教育施設等の視察も行っています。

令和6年度は小・中学校への訪問と雲仙市図書館の視察を行っています。

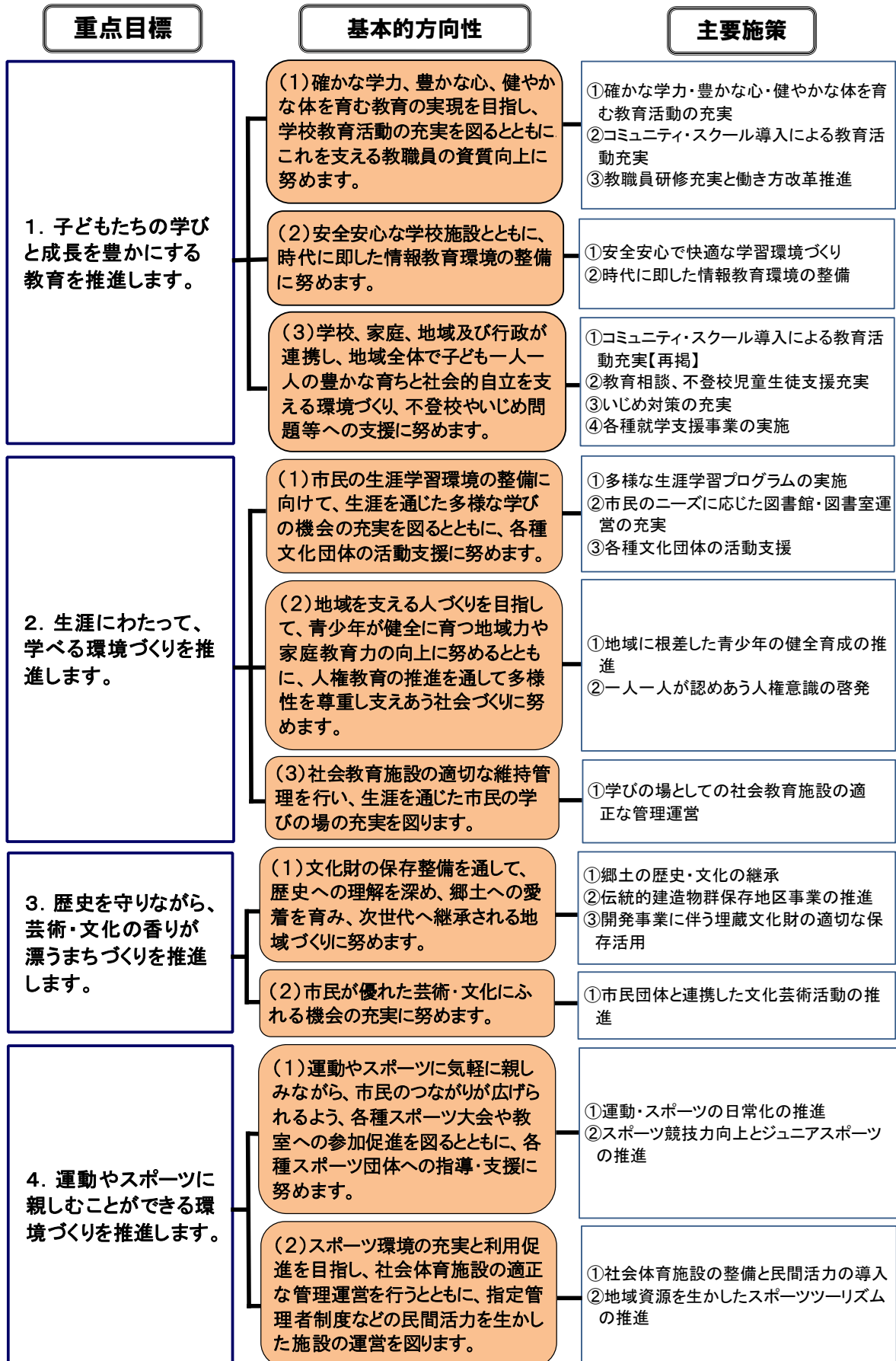
期 日	訪問校等	内 容
令和6年 6月26日	大正小学校	学校経営概況説明等
令和6年 9月18日	愛野中学校	学校経営概況説明等
令和6年10月18日	南串第一小学校	学校経営概況説明等
令和6年11月12日	大塚小学校	学校経営概況説明等
令和7年 3月26日	雲仙市図書館	施設視察

③その他の活動

期 日	活動内容	備 考
令和6年 4月 2日	新規採用・転入教職員（管理職）辞令交付式	
令和6年 4月10日	市内小学校入学式（午前） 市内中学校入学式（午後）	
令和6年 4月24日	長崎県市町村教育委員会連絡協議会理事会	佐世保市
令和6年 5月28日	長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び合同研修会	佐世保市
令和6年 6月 8日 ～ 9日	雲仙市中学校総合体育大会 球技・武道大会	
令和6年 6月18日	雲仙市中学校総合体育大会 陸上競技大会	島原市宮陸上競技場
令和6年 8月 1日	総合教育会議 ①次期「雲仙市教育大綱」の策定について ②中学校部活動の地域移行について	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく市長との協議

期 日	活動内容	備 考
令和6年10月 2日	雲仙市中学校総合体育大会 駅伝大会	長崎県立総合運動公園
令和6年10月28日	長崎県民体育大会雲仙市結団 壮行式	大会は11月9日、10日 開催
令和6年11月 7日	長崎県中学校総合体育大会 駅伝大会	長崎県立総合運動公園
令和6年11月21日	長崎県市町村新任教育委員研 修会	壱岐市
令和6年11月22日	長崎県市町村教育委員会研究 大会	壱岐市
令和6年11月22日	雲仙市指定研究発表会 (八斗木小学校)	
令和6年12月 7日	第19回雲仙市少年の主張大 会	審査員長、審査員
令和6年12月14日	雲仙市中学生英語スピーチコ ンテスト	
令和7年 1月 4日	雲仙市二十歳のつどい	
令和7年 1月 5日	雲仙市消防出初式	
令和7年 2月 4日	総合教育会議 ①次期「雲仙市教育大綱」の 策定について ②雲仙市立小・中学校適正規 模・適正配置基本方針（素 案）について	「地方教育行政の組織及 び運営に関する法律」に基 づく市長との協議
令和7年 2月 6日	雲仙市文化連盟 市展	
令和7年 3月11日	市内中学校卒業式	
令和7年 3月18日	市内小学校卒業式	
令和7年 3月31日	教職員退職者辞令交付式	

3 雲仙市教育振興基本計画 主要施策体系図



4 点検及び評価の概要

(1) 点検及び評価の対象

令和3年に策定した「第2期雲仙市教育振興基本計画」の基本方針に基づく個々の主要施策(Plan)を点検の対象とし、その取組状況(Do)を評価検証する(Check)とともに、その事業達成に向け課題を明確化することにより、次年度以降の取組の方向性を示す(Action)、PDCA サイクルによる事務事業の点検及び評価を行います。

(2) 点検・評価方法

事務の点検及び評価については、各主要施策の取組や達成状況を踏まえ、進捗状況の自己評価を5段階（Aを5点～Eを1点）で示し、それを平均したものを「重点目標」の進捗状況として評価を行います。

「施策の方針」の評価区分	ランクの数値	主要施策ランク	
計画を上回って進捗	4.6 以上	A	5
計画どおり進捗	3.6～4.6 未満	B	4
一部課題はあるが概ね計画どおり進捗	2.6～3.6 未満	C	3
計画に全体的な遅れがある	1.6～2.6 未満	D	2
計画の多くが未達成又は見直しが必要	1.6 未満	E	1

※「施策の方針」の評価＝主要施策ごとの点検シートのランクの数値合計÷主要施策数

5 「重点目標」の評価結果

雲仙市教育振興基本計画における22の主要施策の自己評価は、Aランクが5施策、Bランクが9施策、Cランクが8施策、Dランクが0施策、Eランクが0施策で、昨年度と比べAランクが1施策、Bランクが2施策増えました。

また、各主要施策の取組や達成状況の自己評価を踏まえた、「重点目標」の評価結果は、以下のとおりとなりました。

重点目標	評価結果	主要施策数
子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。	B（平均3.8点）	8施策
生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。	B（平均4.0点）	6施策
歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。	B（平均3.8点）	4施策
運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。	B（平均4.0点）	4施策

6 主要施策に係る点検評価シート

重点目標 1 子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。

点検評価シート

担当課 学校教育課

主要施策（1）－ ①		確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む 教育活動の充実
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の知・徳・体の調和のとれたカリキュラム・マネジメントを充実させることにより、教育効果を高めます。 ■ 県学力調査 小学校（R2）県比 1.1～2.7→（R7）県平均以上を維持 中学校（R2）県比 -4.6～-0.1→（R7）県平均 ■ 学校運営調査（小学校英語）肯定的回答（R2）65.9%→（R7）80% ■ 4年生以上でタブレットを用いた在宅学習ができる児童生徒の割合（R2）0%→（R7）95% 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県学力調査 小学校 県比 -0.9～0.2 中学校 県比 -1.5～1.4 ■ 学校運営調査（小学校英語）肯定的回答 89.2% ■ 4年生以上でタブレットを用いた在宅学習ができる児童生徒の割合 100% ○ 各種学力調査を実施し、結果分析を授業改善につなげることとしている。 ○ 学校運営調査実施時に、「雲仙市追加調査」として「外国語活動・英語について」の調査を実施（小学校3年～6年を対象） <ul style="list-style-type: none"> ・質問「あなたは、先生や友達と英語でやり取りすることが楽しいですか」について回答 ○ タブレットの持ち帰りや在宅学習について、管理職研修や研究発表の指導助言等で繰り返し奨励した。 	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では、国語が0.2ポイント県平均を上回った。算数は0.9ポイント、理科は0.2ポイント県平均を下回った。 ○ 中学校では、数学において1.4ポイント県平均を上回った。国語は0.6ポイント、英語は1.5ポイント県平均を下回った。 ○ 英語学習に対する肯定的回答の割合が全ての学年において昨年度より2.3ポイント下がったが、目標値を大きく超えていた。 ○ 小学校全学年の1週間のタブレットを用いた在宅学習の平均回数は、2.3回となり、前年度の1.4回から増加した。 ○ 中学校においては、1週間のタブレットを用いた在宅学習の平均回数が3.2回となり、前年度の1.7回から大きく増加している。 	
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力調査を軸としたマネジメントサイクルが確立されるよう、校長研修会、教頭研修会等において指導を行っていく。 ○ 授業や家庭学習において「主体的な学び」のツールとして、タブレットを活用するよう、先進校の取組や実践例を発信していく。 	

主要施策 (1) - ② (3) - ①		コミュニティ・スクール導入による教育活動充実	
主な達成目標	・コミュニティ・スクールの連携の核となる学校運営協議会の各校設置を推進します。 ■ 学校運営協議会設置校数 (R2) 1校 → (R7) 6校		
6年度の取組状況	■ 学校運営協議会設置校数 8校 ○ 雲仙市コミュニティ・スクール導入年次計画に沿ったコミュニティ・スクールの導入推進 各小・中学校に、令和5年度に実施したコミュニティ・スクール導入の意向調査に基づき、各学校の意向を踏まえ、校長研修会等でコミュニティ・スクールについて説明するなどして導入を推進した。 ○ 令和7年度導入予定校への依頼及び説明 ・多比良小、川床小、北串小、南串二小		
評価 及び 課題	○ コミュニティ・スクール導入に関する年次計画に基づき、令和8年度までに導入意向のある学校について導入に向けた準備を進めている。 ○ 令和7年度 コミュニティ・スクール導入校 12校 (52.2%)		
評価 自己	A	A: 計画を上回って進捗 B: 計画どおり進捗 C: 一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D: 計画に全体的な遅れがある E: 計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の 取組 次年度 以	○ 令和8年度及び令和9年度の導入に向け、意向調査の結果を踏まえながら、未導入校への働きかけを行う。		

主要施策（１）－ ③		教職員研修充実と働き方改革推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の統合型校務支援システムC4 t h活用能力を高め、時間外勤務を縮減します。 ■ 教職員の時間外勤務月平均45時間超え勤務者数 (R1) 小学校32.6人・中学校56.8人→(R7) 小・中学校0人 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職員の時間外勤務月平均45時間超え勤務者数 小学校6人・中学校28人 ○ 統合型校務支援システムの雲仙市運用ルールを令和3年度より適用開始 ・出退時刻管理、出席簿管理、成績管理、学校日誌・保健日誌作成等の機能活用による業務の効率化が各学校で進められた。 		
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 統合型校務支援システムの本格運用に伴い、教育委員会への提出物削減につなげることができた。 ○ 時間外勤務縮減については、学校が行っている業務の見直し、年休取得の促進等を図り、効率的・効果的な教育活動を更に推進する必要がある。 ○ 教頭の超過勤務の割合が他の教職員の割合を上回っているが、教頭の時間外勤務状況は減少傾向にあり、教頭の働き方改革推進の成果が出ている。 ○ 中学校の部活動に関する業務が超過勤務の主な原因となっているが、部活動の地域展開を推進することで、超過勤務削減につながると捉えている。 		
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和7年度においてもシステム運用による効率化を更に進めていく。 ○ 時間外勤務縮減については、統合型校務支援システムによる客観的な勤務時間の把握を継続し、教職員の意識改革を更に進めていく。 ○ 教頭の働き方改革をより一層推進していく。 ○ 中学校部活動地域展開の推進を図る。 		

主要施策（２）－ ①		安全安心で快適な学習環境づくり	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 各学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修に努めます。 快適な学習環境づくりのため、トイレの洋式化を進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学校のトイレ洋式化率（R2）33.7%→（R7）42.0% 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■学校のトイレ洋式化率 41.6% ○ 快適な学習環境づくり 安全で安心な教育環境を維持するために、施設の修繕及び改修工事等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 【大規模改修事業】 <ul style="list-style-type: none"> 校舎内部改修工事 2件実施（愛野小学校職員室拡張、国見中学校物理室改修） トイレ改修工事 2件実施（国見中学校、吾妻中学校） 給水設備改修工事 1件実施（千々石中学校） 【単独整備事業】 <ul style="list-style-type: none"> 小学校施設単独整備事業（92件：39,916千円） 中学校施設単独整備事業（34件：14,268千円） ○ 学校の教育環境改善及び防災機能強化 防災機能の強化と安全安心な教育環境を整備するために、校舎外壁の改修工事、設計業務を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 【学校施設環境改善交付金事業】 <ul style="list-style-type: none"> 南串第一小学校校舎外壁改修工事・監理業務（繰越分 59,767千円） 瑞穂中学校校舎外壁等改修工事・監理業務（繰越分 99,745千円） 小浜小学校校舎外壁改修工事実施設計業務（1,956千円） 小浜小学校校舎外壁等改修工事 令和7年度へ繰越 		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のトイレの洋式化については、毎年各校2～3基程度の取替えを行っていたが、今後は学校施設環境改善交付金を活用するなど、目標達成に向けて洋式化にかかる予算を確保したい。 ○ 防災機能強化については、国の学校施設環境改善交付金の採択を受け、南串第一小学校及び瑞穂中学校の工事を計画通りに完了した。また、令和7年度に工事を計画していた小浜小学校について、同交付金の前倒し申請を行い工事に着手した。 ○ 学校施設の照明については、良質な学習環境を作るためLED化に向けた予算を確保したい。 ○ 建築から40年を超える学校施設が多いことから、今後も施設の安全性などを維持していくために、屋上防水や外壁、給水管などの改修を行う。 		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「快適な学習環境づくり」については、引き続き屋上防水改修工事等の大規模改修工事と単独整備事業を進め、教育環境の改善に努める。 ○ 「学校の防災機能強化」については、国庫補助及び起債の活用など財源を確保しながら外壁改修工事等に引き続き取り組んでいく。 		

主要施策（２）－ ②		時代に即した情報教育環境の整備
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信機器及びデジタル教材の計画的な更新及び充実と合わせ、通信環境の整備を行います。 ・ すべての教職員が I C T機器を活用した授業に積極的に取り組めるよう研修を進め、I C T機器を用いた授業の円滑な実施を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 授業中に I C Tを活用し指導できる教職員の割合 (R1) 75.3%→(R7) 95% ・ 児童生徒の情報活用能力を向上させる授業に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ インターネットを使って情報を活用することができる児童生徒の割合 「学校運営調査」小学5年生～中学3年生 (R1) 69.5%→(R7) 90% 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業中に I C Tを活用し指導できる教職員の割合 87.7% ■ インターネットを使って情報を活用することができる児童生徒の割合 84.3% ○ 時代に即した情報教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板の老朽化に伴い、新たに20台を更新し小学校9校及び中学校1校の学習環境を整備した。 ○ I C Tレベルアップ研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内教職員の I C T活用能力の全体的なレベルアップを図るために、教職員の実態やニーズに合わせた4講座を実施した。のべ135名の参加者があり、I C T活用能力の向上につながった。 	
評価及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板等の I C T機器については、平成26年度頃から急速に導入が進み、近年老朽化による故障が相次いでいる。 ○ オンライン学習の活用頻度の増加、コンテンツの充実によりインターネット通信の負荷が増加しており通信が不安定になってきている。 ○ 令和6年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」において、授業中に I C Tを活用し指導できる教職員（肯定的解答）は、授業を実施する全教職員（管理職を除く）の87.7%で、R5より6ポイント上昇している。 ○ 情報活用に関する肯定的回答の割合が、小学5年生93.2%、6年生93%、中学1年生89.9%、2年生91.4%、3年生93.3%であった。小学生の肯定的割合が高まった。 	
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化した電子黒板の更新を引き続き行うとともに、老朽化した校務用端末の更新にも着手する。 ○ 児童生徒が利用するインターネット環境の最適化を行う。 ○ 「教師の学びのスタイルの多様化」並びに「主体的に学び続ける教師の育成」を図るために、教職員のニーズや教育情勢を捉えた研修を企画していく。 	

主要施策（3） - ②		教育相談、不登校児童生徒支援充実
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒一人一人の状況に応じて、学校復帰や将来の社会適応に向けた漏れのない支援を行います。 ■ 支援を要する不登校児童生徒への訪問指導等 (R1) 100%→(R7) 100%を維持 ■ 訪問指導員が関わるケース会議・ケア会議 (R1) 15回→(R7) 20回 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援を要する不登校児童生徒への訪問指導等 100% ■ 訪問指導員が関わるケース会議・ケア会議 16回 ○ 「雲仙市児童生徒サポートセンター事業」説明 ・年度当初に、市内全小・中学校を訪問し、事業の説明を行い、訪問指導員の活動内容について周知した。 ○ 支援要請があった児童生徒への対応 学校訪問 66回 家庭訪問 98回 個別指導 407回 電話相談 1回 来所相談 3回 ※全ての支援要請に対応（100%） 	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての支援要請について、訪問指導員が対応することができた。 ○ ケース会議・ケア会議について、新規に対応を開始する場合や、学校や保護者と共通理解を図る必要がある場合など、状況に応じて実施することができた。 	
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初に担当指導主事、訪問指導員、スクールソーシャルワーカーが学校を訪問し、事業説明を行い、周知を図る。 ○ 年度当初に校長研修会・教頭研修会等において事業説明を行い、積極的な活用を促す。 ○ 出席状況が気になる児童生徒について学校と積極的に情報交換を行いながら、訪問指導員の支援が必要な児童生徒について対応する。 	

主要施策（3） - ③		いじめ対策の充実						
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見・早期対応により、いじめの深刻化を防ぎます。 ■ いじめ認知から3か月後の解消率 (R1) 100% → (R7) 100%を維持 							
	6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ いじめ認知から3か月後の解消率 98.2% ○ 毎学期末、「いじめの認知件数に関する調査」を実施 <ul style="list-style-type: none"> いじめの認知件数 139件 内、認知から3か月经過 113件 ※令和7年3月31日時点 <table border="1" data-bbox="379 775 1273 909"> <tr> <td>①解消しているもの</td> <td>111件 (98.2%)</td> </tr> <tr> <td>②解消に向けて取組中</td> <td>2件 (3か月经過済)</td> </tr> <tr> <td>③解消に向けて取組中</td> <td>26件 (3か月未経過)</td> </tr> </table> ○ 市内全小・中学校において、「雲仙市いじめ防止アンケート」を6月または7月に実施した。 		①解消しているもの	111件 (98.2%)	②解消に向けて取組中	2件 (3か月经過済)	③解消に向けて取組中
①解消しているもの		111件 (98.2%)						
②解消に向けて取組中	2件 (3か月经過済)							
③解消に向けて取組中	26件 (3か月未経過)							
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校においては、認知したいじめの全件について解消し、目標を達成している。 ○ 小学校において、いじめの認知から3か月经過後も解消に向けて取組中のものが2件ある。内容については軽微なものであるものの、児童の特性等もあり、解消には至っていない。 							
評価自己	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要						
降の取組 次年度以	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内全小・中学校において、「雲仙市いじめ防止アンケート」を6月または7月に実施し、早期発見・早期対応に有効に活用することで、いじめの深刻化を防ぐとともに、「いじめを許さない学校づくり」に資する。 ○ 毎学期末、「いじめの認知件数に関する調査」を実施し、いじめの発生状況を把握するとともに、早期解決に向けた対応について助言する。 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を含め、学校と連携し、早期解決に向けて支援していく。 							

主要施策（３）－ ④		各種就学支援事業の実施	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容に関する周知に努め、相談に親身に対応するとともに、保護者の困窮状況に早期に対応できるよう、申請から支給までの事務処理期間を短縮します。 ■ 随時申請にかかる申請受付から認定までの期間 (R1) 2週間→(R7) 10日間 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 随時申請にかかる申請受付から認定までの期間 10日以内 ○ 経済的に困窮している家庭に确实かつ迅速に支援するために、広報や申請処理において学校や各総合支所、学校給食センター等と適切に連携するとともに、就学時健康診断や小・中学校入学説明会等の機会を利用して事業の周知に努めた。 ○ 申請後、速やかに個別認定を行い、受付から支給までの事務処理期間の短縮に努めた。 		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報等を利用し周知に努めたが、申請忘れの保護者もあり、今後も学校等との連携を図り困窮状況に早期に対応できるように努める。 		
自己評価	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業内容に関する周知に努め、相談に親身に対応するとともに、保護者の困窮状況に早期に対応できるよう、学校等と連携し事務処理に努める。 		

重点目標2 生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。

点検評価シート

担当課 生涯学習課

主要施策（1）－ ①		多様な生涯学習プログラムの実施
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題や市民ニーズに即した様々な講座を企画します。 ■ 参加者数 (R1) 4,051人→(R7) 4,500人 ■ 講座満足度アンケート (R1) 77%→(R7) 90% 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者数 3,488人(延べ) ■ 講座満足度アンケート 99% ○ 市民講座の実施 全202講座 【対象別】 一般成人 68講座 …「美味しい珈琲の淹れ方」ほか 小・中学生 78講座 …「紙でできたクマを作ろう」ほか 幼児・親子 13講座 …「おもちゃドクターがやってくる」ほか 高齢者 7講座 …「みんなで歌おう懐かしい青春のうた」ほか 男性・その他 36講座 …「本格男のキムチ作り教室」ほか ○ 広報活動 広報うんぜん、市ホームページ、自治会回覧「公民館だより」、無線放送、市公式インスタグラム、市公式LINE等 	
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを的確に把握し、多様な講座を企画・実施したことで、高い参加者満足度を得ることができた。一方で、今後はデジタル活用に関する学習など、社会の変化に対応した講座の企画も求められる。 	
評価自己	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化や家庭教育支援など、社会全体での取り組みが必要な地域課題に向き合うため、ネット配信による講座の企画を始め、公民館の「つどう・まなぶ・むすぶ」機能を十分に生かし、自治会や自治公民館と協力した地域課題解決型の講座を企画するなど、地域住民の主体的な学びの機会を提供していく。 	

主要施策（１）－ ②		市民のニーズに応じた図書館・図書室運営の充実	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館等の貸出利用サービス数の増加を図ります。 ■ 1人当たり貸出冊数 (R1) 4.8冊 → (R7) 5.5冊 ■ 貸出冊数 (R1) 211,492冊 → (R7) 220,000冊 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1人当たり貸出冊数 4.4冊 ■ 貸出冊数 178,803冊 ○ 図書館等（図書館1館、図書室6室）の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵書冊数（視聴覚資料含む） 234,849冊 ・ 利用者数 39,346人 ・ 図書購入冊数 8,805冊 ・ 移動図書館巡回箇所 56カ所 ○ 令和4年3月に策定した第2次雲仙市読書活動推進計画における基本目標を「読書活動を活性化するための関係者の連携強化と年齢に応じた読書活動の支援」とし、実現するための取り組みを今後5年間の計画期間において進めていく。 ○ 読書推進イベントを開催し、読書活動の推進に努めた。 ○ 図書システムにより、ホームページで登録するとスマートフォンで利用者カードが使用可能であり、館内検索システムで資料予約も可能。 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン等の普及により活字離れが進んでいることが推察される。蔵書の充実と情報発信に努め、各種企画を通じて読書に関する理解や関心を高めていく必要がある。 		
評価自己	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応じた読書環境の整備に努める。 ○ 関係機関、図書ボランティア団体等と連携を深め地域ぐるみで読書活動を推進する体制づくりを進める。 ○ 市民が図書館、図書室を学びの場、自己研鑽の場として活用するために図書ボランティア、市民を対象とした研修会、イベント等を積極的に開催する。 		

主要施策（１）－ ③		各種文化団体の活動支援	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・雲仙市文化連盟を構成する各町文化協会及び雲仙市文化会館自主文化事業振興会を支援し、市民主体の文化活動の振興を図ります。 ■ 市内文化事業開催数 (R1) 15回→(R7) 16回 ■ 市内文化事業参加者数 (R1) 4,612人→(R7) 5,000人 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市内文化事業開催数 16回 ■ 市内文化事業参加者数 6,486人 ○ 市民主体の文化活動 <ul style="list-style-type: none"> 市民の活発な芸術文化活動を推進するため、雲仙市文化連盟が中心となり、雲仙市民芸術祭、雲仙市美術展覧会、各町文化祭を開催した。 ・第18回雲仙市民芸術祭 <ul style="list-style-type: none"> 11月24日(日) (愛の夢未来センター) 368人 ・第19回雲仙市民美術展覧会 <ul style="list-style-type: none"> 2月6日(木)～9日(日) (吾妻町ふるさと会館) 459人 ・各町文化祭 ○ 雲仙市文化会館自主文化事業振興会主催事業 <ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズにあった文化芸術鑑賞の機会を充実させるため、雲仙市文化会館自主文化事業振興会による自主文化事業を開催した。 ・うんぜんシネマパラダイス <ul style="list-style-type: none"> 8月24日(土) (愛の夢未来センター) 来場者98人 ・みんなで楽しむ♪ケンハモライブ及びアウトリーチコンサート <ul style="list-style-type: none"> 9月14日(土) (吾妻町ふるさと会館、八斗木保育園) 来場者105人、アウトリーチ参加者50人 ・国見町文化会館開館20周年記念「落語へようこそ」 <ul style="list-style-type: none"> 10月6日(日) (国見町文化会館) 来場者205人 ・3人アンデス・folkloreコンサート in 雲仙市 <ul style="list-style-type: none"> 12月1日(日) (吾妻町ふるさと会館) 来場者198人 ・ビッグバンドジャズフェスティバル2025 <ul style="list-style-type: none"> 1月25日(土) (愛の夢未来センター) 来場者400人 ・市民参加型パントマイムショー「ケッチズフレンズ！」 <ul style="list-style-type: none"> 3月9日(日) (愛の夢未来センター) 来場者302人 ・平和上映会「乙女たちの沖縄戦」 <ul style="list-style-type: none"> 3月23日(日) (吾妻町ふるさと会館) 来場者164人 		
及び評価課題	○ 雲仙市文化連盟の組織強化や会員相互の交流活性化を引き続き図っていく必要がある。地域課題解決につながる文化事業や組織の在り方について研究していきたい。		
評価自己	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主文化事業をはじめ、雲仙市文化連盟による市民芸術祭や市美術展覧会を開催する。 ○ 雲仙市文化連盟、雲仙市文化会館自主文化事業振興会の、自立した組織の在り方を研究する。 		

主要施策（２）－ ①		地域に根差した青少年の健全育成の推進
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「雲仙市家庭教育7か条」の認知度アップに努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者認知度 (R2) 58.4%→(R7) 80% ・小・中学校入学説明会等で、メディア安全指導の指導講習会を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ メディア安全指導開催数 (R1) 26回→(R7) 30回 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者認知度 51% ■ メディア安全指導開催数 27回 ○ 「雲仙市家庭教育7か条」「ココロねっこ運動」「家庭の日」の啓発、推進 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、大会での周知のほか、各町『公民館だより』による広報活動を行った。 ・家庭教育7か条のクリアファイルを新小学1年生児童の保護者へ配布し啓発活動を行った。 ○ メディア機器の安全使用に係る啓発 <ul style="list-style-type: none"> メディア機器利用にかかる事件事故、健康被害等を未然に防ぎ、メディアを安全快適に活用する社会を形成するため、メディア安全指導を実施した。 ・市内小・中学校の新入学児童生徒保護者説明会時にメディア安全講話開催 ・PTAなどを対象としたメディア安全講演会の実施 ・PTAと協働したメディア安全啓発にかかる市統一ルールリーフレットの配布 	
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ココロねっこ運動」や「家庭の日」の啓発、推進については、広報紙での周知の他、『公民館だより』に毎号掲載するなど周知に努めた。少年の主張大会は、小・中学生を出場対象とし実施した。家庭教育7か条啓発のためクリアファイルを新小学1年生の保護者へ配布した。 ○ メディア接触やメディア所持の低年齢化の現状を受け、子どもを取り巻くメディア環境への安全指導を実施した。今後は幼年期保護者も対象に広げ実施していく必要がある。 	
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「雲仙市家庭教育7か条」等の周知啓発を、「広報うんぜん」の「ぼかぼかフォトスナップ」連載等において取り組むとともに、生涯学習講座等の開催により家庭及び地域の教育力を高める。 ○ 市PTA連合会と協力し、子どもたちのメディア機器へのかかわりに関する実態調査の結果を踏まえ、課題に即した啓発活動を行う。 	

主要施策（２）－ ②		一人一人が認めあう人権意識の啓発	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が関心を持てるような講演会の実施や人権映画の上映、人権啓発チラシの配布等を行い、人権について考える機会を設けます。 ■ 人権講演会開催学校数（R2まで） 19校→（R7） 24校 ■ 人権教育講座受講者数（R1） 27人→（R7） 50人 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権講演会開催学校数 27校 ■ 人権教育講座受講者数 40人 ○ 令和6年度雲仙市人権講演会「瑞宝太鼓『夢大使』講演会」市内小・中学校において、4講演を実施した。（市主催県補助金活用事業）（対象者：各校児童生徒、教職員、保護者等） <ul style="list-style-type: none"> <開催校、参加者、開催日> 川床小学校 60名 令和6年12月10日(火) 国見中学校 258名 令和6年12月10日(火) 吾妻中学校 143名 令和6年12月12日(木) 北串小学校 56名 令和6年12月13日(金) ○ 市民講座において、男女共同参画社会の実現を目指した講座に取り組んだ。 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権講演会では、講話、演奏、ワークショップを実施した。参加児童生徒からは、「いじめを受けることの辛い思いを知り、また、障がいがあってもいきいき生活し、活躍される様子から、夢を持ち努力することの大切さを感じている」などの感想が寄せられ、障がいがある方への理解が深まっていることが確認できた。 ○ 本市を拠点に活躍する知的障がいがある和太鼓集団「瑞宝太鼓」を講師とした講演会の実施により、参加者がより身近に障がいのある方への理解を深め、それぞれの立場で一生懸命取り組むことの大切さを感じさせることができた。 ○ 市民が関心を持ちやすい内容やテーマを考慮し、人権意識の啓発に取り組む必要がある。 		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒を対象とした「瑞宝太鼓『夢大使』講演会」や市民講座における人権教育講座等を開催するほか、広報紙、ホームページ等で広く市民へ呼びかける。 ○ より多くの市民に人権意識の啓発を図ることを目的に、人権週間（12月）にあわせて広報紙に特集を組むなど人権教育事業を行う。 ○ 市民講座において、男女共同参画社会の実現を目指した講座に取り組む。 		

主要施策（3）－ ①		学びの場としての社会教育施設の適正な管理運営	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、計画的な改修等を行います。 ・ Wi-Fi 環境を整備し、リモート学習の場を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ Wi-Fi 環境施設（R 1）0 施設→（R 7）7 施設 		
6 年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ Wi-Fi 環境施設 7 施設 ○ 施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 瑞穂町公民館第 2 駐車場整備工事 工期 9/19～3/24 ・ 国見町文化会館駐車場整備工事 工期 9/18～3/21 ・ 旧小浜文化館解体工事実施設計業務 工期 5/31～8/28 ・ 吾妻町ふるさと会館照明設備改修工事実施設計業務 工期 6/28～9/25 ・ 金浜眼鏡橋屋外トイレ改修工事実施設計業務 工期 6/17～8/30 ・ ハマユリックスホール屋外トイレ設置工事実施設計業務 工期 6/14～9/25 		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所管する社会教育施設の老朽化に伴い、設備の大規模改修等を行った。所管する社会教育施設の老朽化が進み、大規模修繕が必要な箇所が今後も想定されており、中長期の計画的な整備を今後も図る必要がある。 ○ 個別施設計画に基づき、千々石町公民館の建て替えについて、今後早急に検討を進める必要がある。 		
自己評価	A	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国見町文化会館空調設備改修工事 ○ 旧小浜文化館解体工事 ○ 旧小浜文化館解体工事監理業務 ○ 南串山文化センター解体工事実施設計業務 		

重点目標3 歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。

点検評価シート

担当課 生涯学習課

主要施策(1) - ①		郷土の歴史・文化の継承	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保存・活用のため、貴重な資料の指定、登録を行います。 各種保存会との連携を図り、郷土芸能団体の継続的な活動を支援します。 郷土資料の調査整理を行うとともに、歴史講座の開催に努めます。 <p>■ 歴史講座数 (R1) 2回 → (R7) 5回</p>		
6年度の取組状況	<p>■ 歴史講座数 13回</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財の検討や、他市町の先進事例を学ぶため、文化財保護審議会を1回開催した。 雲仙市内のハタ揚げ文化を保存継承していくため、愛のまち剣舞箏保存会及び雲仙市吾妻町はた保存会と連携し、ハタ揚げの実施や地元小学生へのハタ作り指導を行った。また、両団体へ年間の活動謝礼金を支払った。 愛のまち剣舞箏保存会 50千円 雲仙市吾妻町はた保存会 50千円 郷土の歴史を学び、市内で行われている発掘調査の成果を市民へ普及するため、市民講座を1回実施した。 考古学講座 1回 「ながさきピース文化祭2025」関連講座 令和7年度の「ながさきピース文化祭2025」に向けて、千々石町出身の鉏雲泉の企画展と鉏雲泉について学ぶ講座を実施した。 鉏雲泉講座 1回 企画展 1回 古文書を読みながら地域の歴史を学ぶ講座を開催した。 (8月から毎月実施) 古文書の読み方講座 8回 夏休み講座 まが玉づくり 2地域 2回 29人 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会を開催し、市内文化財の調査研究を行った。 郷土芸能については、ハタ揚げ文化のみ現在支援しており、その他郷土芸能について調査研究が必要である。 		
評価自己	B	<p>A: 計画を上回って進捗 B: 計画どおり進捗 C: 一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D: 計画に全体的な遅れがある E: 計画の多くが未達成又は見直しが必要</p>	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財の候補があり、指定に向けて文化財保護審議会と調査研究していく。 郷土芸能については、保存団体と連携し保存継承に努める。 歴史講座を開催し、市民に雲仙市の歴史や文化財の魅力の普及啓発を行う。 		

主要施策（１）－ ②		伝統的建造物群保存地区事業の推進
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修理修景事業を推進し、伝統的まちなみ景観の整備を図ります。 ・ 地元自治会や地元NPO法人等と連携し、まちなみを活用した地域活性化に取り組みます。 ・ 旧鍋島家住宅の保存修理を進め、地域の核となる建物として活用を図ります。 <p>■ 鍋島邸入館者数（R1）6,026人→（R7）8,000人</p>	
6年度の取組状況	<p>■ 鍋島邸入館者数 3,797人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 庭園の樹木の剪定等による管理、樹勢の衰えた樹木の回復措置を行い、庭園の適正な維持管理を行った。 ○ 地元団体と連携し、まち歩きイベントなどを行う「小さな文化まつり」を開催した。また2月8日～23日に地元団体主催で「緋寒桜の郷まつり」を実施した。 ○ 観光物産課と連携し、長崎日本大学高等学校のデザイン美術科の伝建地区におけるアート展を実施した。 	
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝建事業については、文化庁及び県学芸文化課の指導を受けながら、補助事業を活用した修理修景事業を実施することができた。 ○ 旧鍋島家住宅の老朽化が進行しており、今後、全体的な修理を行う必要がある。 ○ 鍋島邸の入館者数について、令和6年度は夏と冬の寒暖差が激しく緋寒桜の開花が通常よりも1ヶ月ほど遅れ、入館者数が落ち込んだ。緋寒桜の時期以外にも入館者数を維持できるような工夫を行っていく必要がある。 	
自己評価	C	<p>A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要</p>
降次の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、国、県の補助金を活用した修理修景事業を実施する。 ○ 旧鍋島家住宅の修理に向けた協議を行う。 ○ 地元団体と連携したイベントを開催する。 ○ 観光物産課や自治会等と連携し、より良い伝建地区の活性化に向け定期的に協議を行う。 	

主要施策（１）－ ③ 開発事業に伴う埋蔵文化財の適切な保存活用						
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各種開発事業に伴う発掘調査事業を実施します。 ・雲仙市歴史資料館における発掘調査成果の公開・活用を図ります。 ■ 国見展示館入館者数（R1）1,018人→（R7）1,500人 					
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国見展示館入館者数 1,906人 ○ 国見地区基盤整備事業に伴う発掘調査（出土品整理作業） 基盤整備事業に伴う発掘調査による出土品の整理作業を行った。 ・これまでに、縄文時代の土器や石器、古墳時代の住居跡、中世の炭焼き窯跡、県内最大規模と考えられる100基を超える中世墓が発見された。 ○ 吾妻地区基盤整備事業に伴う野井山尻遺跡、倉子遺跡の発掘調査 （調査面積：野井山尻遺跡 1,880㎡、倉子遺跡 1,378㎡） 基盤整備事業に伴う発掘調査により遺跡の消滅する部分の発掘調査を行った。 野井山尻遺跡では、縄文時代早期の石器製作の跡や中世の炭焼き窯跡が発見された。 倉子遺跡では、縄文時代早期の土器や石器、縄文時代早期以降と考えられるイノシシなどを捕らえる落とし穴状遺構が発見された。また、落とし穴状遺構へ獲物を誘導する柵列と考えられる痕跡も発見された。 ○ 南串山地区基盤整備事業に伴う発掘調査（出土品整理作業） 基盤整備事業に伴う発掘調査による出土品の整理作業を行った。 ・これまでに、縄文時代晩期の土器、石器が数多く発見された。 ○ 市内遺跡発掘調査 市内の各種開発事業に伴い遺跡の内容確認（試掘）調査を実施した。（10件） ・調査の結果に合わせて、文化財の保護を講じるよう指導を行った。 守山大塚古墳の地下レーダー探査に伴う報告書を刊行した。 ○ 国見展示館企画展等 ・「神代鍋島家に伝わる所蔵品展」「古代人のたからもの」「神代氏と武具」「神代小路のお雛様と神代鍋島家のドレス」 1,590人 ・夏休み講座 まが玉づくり 2地域 2回 29人 ・社会科見学 市内小・中学校 5校 121人 					
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県営基盤整備事業に伴う発掘調査については計画どおり進めることができた。今後も整備事業の計画があり、関係各所と連携し埋蔵文化財の保護に取り組む必要がある。 ○ 発掘調査成果の企画展等計画し、今後も市内文化財の周知を図っていく必要がある。 ○ 国見展示館の企画展なども充実させ、市民へ文化財全般の周知普及に取り組みたい。 					
評価自己	A <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="padding: 0 5px;">A：計画を上回って進捗</td> <td style="padding: 0 5px;">B：計画どおり進捗</td> <td style="padding: 0 5px;">C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗</td> <td style="padding: 0 5px;">D：計画に全体的な遅れがある</td> <td style="padding: 0 5px;">E：計画の多くが未達成又は見直しが必要</td> </tr> </table>	A：計画を上回って進捗	B：計画どおり進捗	C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗	D：計画に全体的な遅れがある	E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
A：計画を上回って進捗	B：計画どおり進捗	C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗	D：計画に全体的な遅れがある	E：計画の多くが未達成又は見直しが必要		
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発に伴う発掘調査及び報告書作成、現地説明会等を行い、調査成果の活用を図る。 ○ 国見展示館等での企画展等を通して、調査成果の周知と歴史学習に寄与する。 ○ 文化財保護啓発冊子の作成を行い、文化財保護に取り組む。 ○ 神代城（鶴亀城）跡の測量調査に着手し、保存活用に取り組む。 					

主要施策（２）－ ①		市民団体と連携した文化芸術活動の推進
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象とした文化芸術体験事業及びアウトリーチ事業を開催します。 市内文化会館自主事業において、参加者の増加を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自主事業数 (R1) 9回→(R7) 10回 ■ 自主事業参加者数 (R1) 2,891人→(R7) 3,000人 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自主事業数 7回 ■ 自主事業参加者数 1,522人 ○ 雲仙市文化会館自主文化事業振興会主催事業 市民のニーズにあった文化芸術鑑賞の機会を充実させるため、雲仙市文化会館自主文化事業振興会による自主文化事業を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・うんぜんシネマパラダイス 8月24日(土) (愛の夢未来センター) 来場者98人 ・みんなで楽しむ♪ケンハモライブ及びアウトリーチコンサート 9月14日(土) (吾妻町ふるさと会館、八斗木保育園) 来場者105人、アウトリーチ参加者50人 ・国見町文化会館開館20周年記念「落語へようこそ」 10月6日(日) (国見町文化会館) 来場者205人 ・3人アンデス・フォルクローレコンサート in 雲仙市 12月1日(日) (吾妻町ふるさと会館) 来場者198人 ・ビッグバンドジャズフェスティバル2025 1月25日(土) (愛の夢未来センター) 来場者400人 ・市民参加型パントマイムショー「ケッチズフレンズ！」 3月9日(日) (愛の夢未来センター) 来場者302人 ・平和上映会「乙女たちの沖縄戦」 3月23日(日) (吾妻町ふるさと会館) 来場者164人 	
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課題解決につながる文化事業や組織の在り方について研究していきたい。 ○ 自主文化事業開催補助金を有効活用し、限られた予算の中でさらなる事業効果を高める必要がある。 	
自己評価	C	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民のニーズを反映した自主文化事業を開催する。 ○ 自主文化事業振興会の自立した組織のあり方を研究する。 	

重点目標4 運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進
します。

点検評価シート

担当課 スポーツ振興課

主要施策(1) - ①		運動・スポーツの日常化の推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション協会、総合型地域スポーツクラブの加盟団体及び会員数を増やし、市民の軽スポーツ人口の拡大のための支援を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ■ レクリエーション協会加盟団体 (R2) 5団体→(R7) 6団体 ■ 総合型地域スポーツクラブの会員数 (R2) 176人→(R7) 200人 ・雲仙市スポーツ協会等と連携してスポーツ教室を開催し、市民及びスポーツが苦手な小学生に対し、スポーツに親しむ機会を拡大させます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ団体が主催する教室 (R2) 2教室→(R7) 3教室 		
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ レクリエーション協会加盟団体 4団体 ■ 総合型地域スポーツクラブの会員数 175人 ■ スポーツ団体が主催する教室 3教室 ○ 軽スポーツ団体の支援 雲仙市レクリエーション協会及びがまだすスポーツクラブにおける活動の充実や組織の拡充を図るため、それぞれの団体に対して支援等を行った。 【雲仙市レクリエーション協会】・構成団体数：4団体 構成人数：141人 【がまだすスポーツクラブ】 ・種目数：4種目 会員数：175人 ○ スポーツ教室等の実施 運動機会の提供・紹介のための軽スポーツ等の教室を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスアップスクール (延べ参加人数：121人) ・水泳教室 (延べ参加人数：76人) ・ドッジボール教室 (延べ参加人数：241人) ○ 体力測定会の実施 自分の体力年齢などを知る機会として、体力測定会を実施した。 (参加人数：36人) ○ 市民ラジオ体操会の実施 市内7会場(7町)一斉にラジオ体操会を実施した。(参加人数：297人) ○ レクリエーション&スポーツフェスタの実施 子どもから高齢者まで誰もが参加できるレクリエーション&スポーツフェスタを実施した。 (参加人数：64人) 		
評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽スポーツ団体の支援については、団体数は昨年と同数であったものの会員数については、微増ではあるが増加した。団体数の増加は容易ではないものの、それぞれの団体において意欲的に活動に取り組んでいる。 ○ スポーツ教室等については、ヘルスアップスクール、水泳教室、ドッジボール教室を開催し、市民がスポーツに親しむ機会の提供ができた。 		
自己評価	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い年代を対象にした各種大会や教室等の開催に向けた取組を行う。 ○ ラジオ体操の推進については、引き続き市民ラジオ体操会を開催し、各種大会や企業等においてラジオ体操を取り入れてもらうよう推進を図る。 ○ 市民運動会については、今後の在り方等を各種団体や自治会長のご意見を伺いながら、関係機関等と連携し、調整を図っていく。 		

主要施策（１）－ ②		スポーツ競技力向上とジュニアスポーツの推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会と連携し市民の競技力向上と競技人口の拡大を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ協会加盟団体数（Ｒ２）１９団体→（Ｒ７）２１団体 ■ 小学生クラブ活動振興会加盟団体数（Ｒ２）５１団体→（Ｒ７）５４団体 ・ジュニアスポーツの推進については、健康な身体づくりを推進しながら、練習時間及び休養日の設定を遵守させ、過重な指導の防止を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 少年スポーツの現状に合った講習会の開催（Ｒ２）１回→（Ｒ７）１回 		
６年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ協会加盟団体数 18 団体 ■ 小学生クラブ活動振興会加盟団体数 49 団体 ■ 少年スポーツの現状に合った講習会の開催 0 回 ○ スポーツ協会の運営支援 <p>市民スポーツ大会をはじめとする市民の各種競技会の開催、競技力向上や競技人口の拡大のための講習会や教室を行う雲仙市スポーツ協会の活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会加盟団体 18 競技団体（1,349 人） 補助金 17,166 千円 ・市民スポーツ大会開催支援 17 競技（1,400 人） 補助金 1,448 千円 ・R6.11 県民体育大会出場に係る経費の一部を助成 18 競技 429 人 ○ 補助金等による経済的支援 <p>優秀な成績で上位大会へ出場する選手や団体に対し経費の一部を助成し、負担の軽減と意識の高揚を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会出場激励費の交付 件数：235 件 激励費：8,735 千円 ○ 振興会等団体に対する活動・運営支援 <p>少年期における健康な身体づくりと、将来のスポーツ活動への意欲を育むため、小学生クラブ活動振興会に対し、運営経費の一部を助成して、その活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体数：49 クラブ 構成部員数：600 人 補助金 2,111 千円 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ協会の運営支援については、各種事業を計画どおりに開催することができた。 ○ 補助金等による経済的支援については、全国大会等への出場団体が多く、スポーツ大会出場激励費の交付件数や交付額は昨年と比べると増加した。 ○ 振興会等団体に対する活動・運営支援については、各団体に対して運営のための経費の一部を助成することにより活動の支援を行った。 		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ協会の運営支援を行うとともに、各競技団体が行う大会及び教室開催等の活動を支援し、スポーツ人口の増加を図る。 ○ 競技力の向上及び優秀選手の育成のため、ジュニアスポーツの推進とスポーツ協会各競技団体等の競技力向上に向け、引き続き補助金等による経済的支援を行うとともに、指導者向けの講習会などを開催する。 ○ 雲仙市中学校部活動地域展開に伴う休日の部活動について、令和8年度完全展開へ向けての取組連携を図る。 		

主要施策（２）－ ①		社会体育施設の整備と民間活力の導入
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設（設備・備品）の適正な管理運営については、定期的に安全点検を実施し、必要があれば交換、修繕等を迅速に行い使用者が快適に利用できる環境を確保します。 ■ 定期的な点検（R2）不定期→（R7）6回／年（1回／2ヶ月） ・適切な利用のための予約制度システムを導入します。 ■ 予約制度システム（R2）未導入→（R7）導入完了 ・指定管理制度による民間活力の導入に向けて調査・研究を進めます。 ■ 指定管理施設（R2）2施設→（R7）3施設 	
6年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的な点検 6回／年 ■ 予約制度システム 導入完了 ■ 指定管理施設 2施設 ○ 社会体育施設（設備・備品）の点検等 定期的に社会体育施設の点検等を行い、修繕等が必要な箇所について早期の対応を行った。 ○ 予約制度システムの導入 令和5年度に社会体育施設等の新たなウェブ予約システムを導入した。 ○ 指定管理者制度による民間活力の導入 指定管理者制度による民間企業のノウハウ等を導入した施設の運営に努めた。 【国見総合運動公園（遊学の里くにみ）】 指定管理者：株式会社 NSP 指定管理契約期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間） 指定管理料：33,700千円（年額） 【リフレッシュセンターおばま】 指定管理者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社九州・沖縄支店 指定管理契約期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間） 指定管理料：26,100千円（年額） 	
評価検証 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会体育施設の老朽化に伴う施設の破損や機器類の故障等への対応として、定期的な点検や見回りを強化し、早期の改修に努め、利用者への影響を最小限に留めた。 ○ 「国見総合運動公園（遊学の里くにみ）」及び「リフレッシュセンターおばま」については、令和5年度から新たな指定管理者となったことから、毎月1回程度の連絡調整会議を開催し、情報の共有を図りながら適正な施設の運営やサービスの向上に努めた。 	
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要
降の取組 次年度以	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内社会体育施設について老朽化が進んでいるため、公共施設等総合管理計画に基づき施設の統廃合や民間活力の導入等に向けた検討を行いながら、施設の改修や修繕についても計画的な施設改善を図る。 ○ 「国見総合運動公園（遊学の里くにみ）」及び「リフレッシュセンターおばま」について、指定管理者と連携を図り、安定した施設運営を行う。 また、令和8年度が指定管理期間の最終年度となるため、次期公募に向けての準備を行う。 	

主要施策（２）－ ②		地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進	
主な達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿の誘致に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ合宿の誘致（Ｒ２）０団体→（Ｒ７）年間２団体 ・平日のスポーツ大会の誘致に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 平日のスポーツ大会の誘致（Ｒ２）０大会→（Ｒ７）年間２大会 ・スポーツ大会並びに障害者スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致及び平日のスポーツ大会の誘致を行いながら、観光関係団体等と連携を図り、市民が「支える」スポーツ環境を整備します。 		
６年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ合宿の誘致 ２団体 ■ 平日のスポーツ大会の誘致 ０大会 ○ スポーツ合宿、大会等の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの所管課である観光物産課と連携を図りながら合宿及び大会等の誘致に取り組み、合宿については、SVリーグ女子の「SAGA久光スプリングス」とバドミントンの強豪校である「瓊浦高校バドミントン部」が合宿を行った。また、日本卓球協会が行う「パスウェイ九州ブロック事業」として小浜体育館での合宿を行うことができた。 令和６年度の主な大会として、令和４年４月に市と協定を締結した九州大学バスケットボール連盟の年３回の大会を始め、卓球プロリーグであるTリーグ女子の大会や、日本スポーツマスターズ2024長崎大会のバレーボール男子などを開催することができた。 ○ 平日のスポーツ大会の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・平日のスポーツ大会の誘致に努めたが、大会の誘致まで繋げることができなかった。 ○ 観光関係団体等と連携を図り、市民が「支える」スポーツ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学バスケットボール連盟の大会について、大会の回数を重ねるにつれ旅館やホテルなどの宿泊事業者側とチーム側の関わりもできており、地域としても大学生が試合で活動していることへの認知が高まっている。 		
及び評価課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小浜体育館の供用開始から継続的な誘致活動を行い、合宿や大会等の誘致に繋げることができた。平日の大会誘致はできなかったが、スポーツマスターズ（バレーボール競技）の全国大会や卓球プロリーグであるTリーグの開催など、有観客の大会についても誘致することができた。 ○ スポーツツーリズムの推進にかかる機運の醸成を図るため、観光関係団体やスポーツ関係団体等との連携強化が必要である。 		
評価自己	B	A：計画を上回って進捗 B：計画どおり進捗 C：一部課題はあるが概ね計画どおり進捗 D：計画に全体的な遅れがある E：計画の多くが未達成又は見直しが必要	
降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで誘致したスポーツ大会等の継続的な開催を始め、新たな大会等の誘致に向けた取り組みを更に加速させるため、観光関係団体やスポーツ関係団体等との連携強化に努める。 ○ 市内社会体育施設を有効に活用し、スポーツ大会のみならず、各種大会やイベント等の誘致に取り組む。 		

7 学識経験者の所見

(1) 点検・評価に対する総評

本年度は、本市教育行政推進の基本計画として策定された「第2期雲仙市教育振興基本計画」5か年計画の4年目であり、本市の教育に関する総合的な施策の根本となる「雲仙市教育大綱」の最終年度である。

これまでの取組を踏まえ、「雲仙市教育大綱」を具現化するために4つの重点目標と22項目の主要施策において、A・Bランクの「増加」やD・Eランク「0」の評価が見られ、点検評価シートによる積極的な点検及び真摯な評価の蓄積が、着実な成果につながっていることを高く評価したい。

「第2期雲仙市教育大綱」については、総合教育会議において確実な協議がなされ、令和7年3月に策定をされた。改定のポイントとして「ウェルビーイング」※1という概念が新たに盛り込まれたことや4つの重点目標や基本的方向性がさらに深められており、本市教育の充実がさらに発展・深化することが大いに期待される。

広く市民に公開されている市教育委員会定例会会議録を拝見すると、地域や各学校の実態に即した課題や喫緊の課題について多くの審議がなされている。雲仙市の教育の充実発展に向けた熱意を感じることができ、深く感謝の念を抱いた。総合教育会議では、全国的な流れである「中学校部活動の地域移行」についての議論もなされている。検討委員会委員の委嘱や地域展開についての説明等が定例会においてなされ、今後加速度的に進展していくことが期待される。教育長及び教育委員による学校、社会教育施設訪問が計画的に実施されている。机上の空論ではなく、現場の具体的な声や課題への支援・指導が確実になされていることに敬意を表したい。

令和7年度は「第2期雲仙市教育振興基本計画」の最終年度となる。これまでの確実で真摯な取組の成果を考えると、まとめの年度としての成果と「第3期雲仙市教育振興基本計画」における取組への期待が大いに高まる。

【用語の説明】

※1 ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

(2) 「重点目標」に係る主要施策ごとの評価

重点目標 1「子どもたちの学びと成長を豊かにする教育を推進します。」 について

主要施策 1

継続的な市指定研究事業や計画的な学校訪問により、各学校の実態に応じた教育活動の質を高める指導が深まっていることをまずもって評価したい。県学力調査を見ると、小学校で国語・算数・理科ともにほぼ県平均を維持している。中学校において数学は県平均以上を達成し、国語・英語においても向上傾向が見られる。今後これらの各種学力調査を軸としたマネジメントサイクルの充実により、各学校において自校の児童生徒にどのような力をつけさせたいのかを明確にした指導が、さらに深まることを期待している。

タブレットを用いた在宅学習の回数が増加していることから、児童生徒の自発的な学習や家庭学習の習慣化がより定着してきていることがうかがえる。授業と家庭学習の「つなぎ」としての活用に加え、楽しみながら学習できるタブレット教材の開発や教師の活用能力の向上など、「主体的な学び」のツールとしての活用が今後さらに展開されるよう指導の継続をお願いしたい。

多様なニーズに応える必要が高まっている教育現場において、学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちの未来を共に育む教育が求められている。コミュニティ・スクールの導入が、年次計画に基づき確実に推進され、令和7年度には12校(52.2%)と市内約半数の学校で導入がなされることは大いに評価できる。今後も継続的に未導入校への働きかけが行われると思うが、学校の過重負担にならないよう、既存の組織を生かした地域学校協働本部の設置や活動推進員の育成等への配慮及び目的の明確化など、コミュニティ・スクール導入時の課題解決に向けた指導・支援をお願いしたい。

教職員の働き方改革は、長時間勤務を改善し健康でやりがいを感じながら働くことができる環境を整備することや、教職員が子どもや自分と向き合う時間を確保することで、学校教育の質を維持・向上させることが目的であるともいえる。統合型校務支援システムC4t hの活用により、業務の効率化が図られていることは大いに評価できる。働き方改革の推進により教師のウェルビーイングが確保され、子どもたちに対しての効果的な教育活動がさらに展開されるよう指導・支援をお願いしたい。教頭の働き方改革の一層の充実や中学校部活動地域展開の推進に向けてもさらにご尽力いただきたい。

主要施策2

「安全安心な学校」は、学校教育を推進する上での大前提となるものである。家庭や社会の環境の変化に伴い、学校施設の機能・性能の向上が求められている。その一つである「トイレの洋式化」について、洋式化率41.6%と達成目標とほぼ同水準の達成率であることは大いに評価できる。多くの家庭でトイレの洋式化が進んでいる現状を考えると、さらにスピード感をもった取組をお願いしたいところである。屋上防水や校舎外壁等については、そのことに起因する事故が起きないように今後も計画的な改修をお願いするとともに、各学校において毎月の安全点検も含め、教職員が危機管理意識をもって組織的・継続的に安全対策ができるよう指導・支援をお願いしたい。

学びの充実を図るために必要不可欠な学習基盤といえる情報教育環境の整備において、タブレット端末や電子黒板等のICT機器や校内LAN等のネットワーク環境の整備が、積極的・計画的に進められてきたことは高く評価できる。児童・生徒の情報活用能力の向上のためには、教職員のICT活用能力の向上は不可欠である。教職員の実態やニーズに合わせた「ICTレベルアップ研修会」が実施され、多くの教職員の活用能力向上が図られたことは大きな成果であるといえる。日々進歩するインターネット環境の構築やポータルサイト内のコンテンツ・各種ソフトウェアの充実等について、今後も積極的に推進していただきたい。

主要施策3

全国的な調査によると、不登校になる原因として無気力・不安といった本人に係る原因が約半数という調査結果がある。「雲仙市児童生徒サポートセンター事業」による学校訪問・家庭訪問・個別指導が、支援要請に100%対応という形で行われ、心に寄り添ったきめ細やかな個別の支援が行われていることを高く評価したい。不登校児童生徒に対する柔軟な対応に向けて、保護者との共通意識を持った対応や教職員と訪問指導員、スクールソーシャルワーカーとの効果的な連携・協力による対応が、さらに推進されることを期待している。また、フリースクールなどの民間施設との積極的な連携等による支援の一層の充実をお願いしたい。

いじめの早期発見・早期対応によるいじめの深刻化防止に向け、「雲仙市いじめ防止アンケート」や毎学期末の「いじめの認知件数に関する調査」が実施され、いじめの認知や解消が確実に行われていることが評価できる。いじめの認知件数について、昨年度が257件で本年度が139件と半数弱に減

少している。これまでのいじめ深刻化防止の取組やいじめを許さない学校づくりへの指導・助言が確実に推進された成果であると評価できる。

就学援助事業の周知について、学校等各種機関との連携や広報紙・市ホームページへの掲載など工夫・徹底が図られている。申請後の速やかな個別認定により、受付から支給までの事務処理期間の短縮等に努められた結果としての自己評価「A」は大いに評価できる。今後も目標達成に向けた地道な取組をお願いしたい。

重点目標2「生涯にわたって、学べる環境づくりを推進します。」について

主要施策1

多様な生涯学習プログラムとして、幼児・親子、小・中学生、成人男性までを含む、実に多くの市民講座が企画・実施されている。内容の工夫もあり高く評価できる。私も成人男性として「本格男のキムチ作り教室」に参加をさせていただいた。久しぶりに学ぶ喜びを感じることができ、楽しいひと時であった。初めての参加者も多くあり、今後もネット配信や自治会・自治公民館等との連携による取組を通して、参加者のすそ野を広げる取組の充実を一層願うものである。

雲仙市図書館のホームページを開くと日々工夫・改善がなされ、その充実ぶりがうかがえる。例えば、図書館カレンダーでは1図書館・6図書室ごとのイベントやお知らせを詳しく知ることができ、蔵書検索や「とりよせくん(取り寄せを申し込むシステム)」も非常にわかりやすい。スマートフォンの普及が急速に広まっている現代において、利用者への利便性の向上を高く評価したい。一方で、図書館の役割の一つである自由な懇談やグループ活動等「学びを発展させる場」「文化的な生活を楽しむ場」としての図書館の活用とともに、各種団体との連携による読書活動の推進が、今後さらに深まることを願っている。

担当課による指導・支援により、市民芸術祭・市民美術展覧会や自主文化事業が、全ての年齢層や市民のニーズを考慮し数多く開催されている。市民の文化芸術振興への関心を高め、心の豊かさを醸成する貴重な機会でありとても意義深い。課題として、文化連盟の組織強化や会員相互の交流活性化、組織のあり方等の記載があるが、関係者の努力により文化活動が充実している状況を踏まえ、よりよい改善が進んでいくことを期待している。

主要施策2

令和5年度に「子ども家庭庁」が発足し、12月には「こども大綱」が示され「こどもまんなか社会」の実現が掲げられた。その基本方針として「…個性の尊重と権利の保障」「…ライフステージに応じて切れ目なく対応した十分な支援」「…貧困と格差を解消し、良好な生育環境を作る」等が示されている。本市で継続的に取り組まれている「雲仙市家庭教育7か条」の啓発活動や「ココロねっこ運動」「家庭の日」の啓発推進は、家庭及び地域の教育力を高める取組として大変有意義なことであり評価できる。

インターネットメディアは、その利便性から私たちに様々な恩恵を与え、生活の一部となっている。半面、長時間利用による健康被害、プライバシーや個人情報保護の難しさ、情報漏洩のリスク、匿名性の悪用等デメリットも多く、特に児童生徒にとって大きな危険性がある。「メディア安全講話及び講演会」の実施、「市内統一リーフレット」の配布は、これらの危険性を改めて確認する貴重な機会となっており高く評価できる。日々進化し、次々に新しい課題が生まれてくるネットメディア対策においては、児童生徒の実態調査の結果を踏まえることが重要である。新しい情報や対策をもとにした啓発活動が今後も継続的に取り組まれることを期待している。

令和7年度の法務省の人権啓発活動重点目標は、「『誰か』のことじゃない。」と定められている。社会に依然として存在している様々な人権課題に対して、子どもたちが自分や身近な人の問題としてとらえることができるような学習の機会を得る必要がある。講話・演奏・ワークショップによる人権講演会が、市内全域の学校で計画的に実施継続され、絶対にあってはならない「いじめ」や「障がい者への偏見や差別」への理解が深まっていることを高く評価したい。市民講座においても、誹謗中傷や差別、障がい者への偏見、多様性の尊重等、様々な視点からの取組が今後もなされることを期待している。

主要施策3

各公民館のロビーやエントランスに無料Wi-Fiが計画的に整備され、リモート学習やインターネット活用の利便性が高まっており、学びの場としての充実につながっている。総合管理計画個別施設計画に基づいた公共施設等の計画的な改修がなされ、公共施設の安心・安全な利用、災害時の避難場所としての機能の充実等につながっていることは高く評価できる。

重点目標3「歴史を守りながら、芸術・文化の香りが漂うまちづくりを推進します。」について

主要施策 1

「ながさきピース文化祭 2025」における本市イベントの一つである「雲仙ゆかりの画家特別展」に関連する講座や夏休み講座としての「まが玉づくり」の実施は、市民への雲仙市の魅力の普及啓発の新たな試みであり、非常に意義深いと評価できる。本市におけるハタ揚げ文化については、歴史を守る・文化を継承するという観点からも継続的な活動支援をお願いしたい。

伝統的まちなみ景観の整備や地元団体と連携したイベントの開催により、鍋島邸入館者数等も維持され、地域活性化が確実に推進されていることを高く評価したい。国見展示館においては、引き続き企画展等が実施され、郷土への愛着を育む歴史学習に十分寄与していると評価できる。

主要施策 2

自主事業への参加者数が、1, 500名を超え、市民が優れた芸術・文化にふれる機会の充実が図られている。「～アウトリーチコンサート」「市民参加型～」「落語へようこそ」など、アウトリーチ事業の開催が、芸術を市民や地域に届けよう、子どもたちの豊かな感性を育もう、という情操教育の一助となっており大変意義深い。限られた予算の中での事業効果を高めるために、今後も情報の収集や事業開催の工夫をお願いしたい。

重点目標4「運動やスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。」について

主要施策 1

健康長寿社会となり、心身の健康や体力の維持のためにウォーキングや軽スポーツを実践する人たちが増加している。健康であることは誰もが望むことであり、仲間と共に楽しみながら行う運動・スポーツは、人に生き甲斐と充実感を与える。軽スポーツ団体への支援やスポーツ教室等の実践が、市民の新たな運動の実践への糸口となり、市民同士のつながりや運動・スポーツの日常化へと広がりを見せていることは、大変評価される場所である。

心身の健康づくりが大切であるといわれるジュニアスポーツの推進において、指導者向け講習会等が内容の工夫とともに確実に実施されている。スポーツ協会及び振興会等団体に対する活動・運営支援も滞りなく行われ、市民スポーツの推進と競技力の向上が図られていることを高く評価したい。雲仙

市中学校部活動地域展開については、全国的な課題でもあり可能な限り早期の実現を目指す必要がある。今後、学校・家庭・多くの関係者の連携協働した段階的・計画的な取組により、改革が一層推進されることを期待している。

主要施策 2

雲仙市公共施設予約システムの導入により、社会体育施設等の検索や予約状況の確認をスムーズに行うことができ、利便性の向上につながっていると評価できる。社会体育施設の安全な利用のための定期的な点検や見回りが強化され、早期の改修や修繕が図られている。今後も、安全管理に関する利用者の声を確実に吸い上げながらの安全管理に努めていただきたい。

スポーツマスターズの全国大会、卓球プロリーグなど有観客の大会誘致やスポーツ合宿の取組が継続的に実施され、スポーツツーリズムの推進につながっていることは大変評価できる。今後も地域魅力の発信や大会誘致への取組など、観光関係・スポーツ関係団体との連携による取組により、本市におけるスポーツツーリズムが大いに発展することを期待している。

「第2期雲仙市教育振興基本計画」の基本方針に基づく4年目の取組において、PDCAサイクルによる点検・評価が適切になされ、目標達成に向け真摯に取り組まれてきた雲仙市教育委員会に敬意を表する次第です。

雲仙市教育委員会のなお一層の発展を祈念し、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価に関する報告書（令和6年度事業分）」に対する私の所見の報告といたします。

令和7年7月7日

岩 永 敏 幸

雲仙市教育委員会

〒854-0492

長崎県雲仙市千々石町戊582番地

TEL 0957-37-3113

FAX 0957-37-3112